

PAZ圏内の海水浴場及び入場者の数

- 高浜町ではPAZ圏内に海水浴場が7か所あり、平成26年度シーズンの1日あたりの最大入れ込み客数は約5,350人。
- 高浜町の海水浴客の交通手段は、対象となる海水浴場周辺の駐車場利用率によると全体の約9割が自家用車利用で、残りの1割が貸切バス及び公共交通機関を利用。(平成26年度観光客入込調査高浜町)
- 舞鶴市ではPAZ圏に準じた地域に海水浴場が1か所あり、1日あたりの想定最大入れ込み客数を約750人と想定。



野原海水浴場
750人



難波江海水浴場
500人



若宮海水浴場
400人



城山海水浴場
1,000人



えびす浜パーク
300人



鳥居浜海水浴場
350人



はまなすパーク
1,000人



白浜海水浴場
1,800人



※ 野原海水浴場の想定最大入れ込み客数は、同海水浴場の1日あたりの平均入場見込人数約150人に、高浜町の海水浴場における、一日あたりの最大入れ込み人数と平均入れ込み人数との比率を乗じて試算。

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約1,250人分:バス27台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知(施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅)。

	想定対象人数 (最大) (人) ※	想定必要バス数 (最大) (台)	備考
自家用車で避難ができない住民	111	3	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り45人程度の乗車を想定
観光施設から避難する一時滞在者	約593	13	バス1台当り45人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している 者がいる場合は、その分必要車 両台数は減少
海水浴場から避難する一時滞在者	約535	11	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約5,350人の うち、約9割が自家用車で訪問して いる(『平成26年度観光客入込調 査 高浜町』)ことを踏まえ、その1 割を想定対象人数として算入。
合 計	約1,239	27	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

	確保車両台数(台)	備考
	バス	
(A)最大必要車両台数	27	
(B)車両確保台数	合計27以上	
福井県丹南地方のバス会社が保有する車両	26 [※]	福井県丹南地方のバス会社が保有する車両総数173台
その他(関西電力等)が配備する車両	1以上	関西電力等が確保する車両を使用

※ 福井県原子力防災訓練(平成26年度)の実績を参考に、バス会社保有台数のうち最大25%の出動を見込む【P】
 ※2 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約229人分：バス10台。

	想定対象人数 (最大) (人) ※	想定必要バス数 (最大) (台)	備考
自家用車での避難ができない住民	64	6	各地区にバス1台を配車 1台当り45人程度の乗車を想定 全住民の1割が自家用車で避難できないと想定
観光施設から避難する一時滞在者	約90	2	バス1台当り45人程度の乗車を想定 自家用車や観光バスで来場している 者がいる場合は、その分必要車両 台数は減少
海水浴場から避難する一時滞在者	約75	2	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約750人のうち、約9割が自家用車で訪問している(『平成26年度観光客入込調査高浜町』を引用)と想定し、その1割を想定対象人数として算入。
合計	約229	10	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、舞鶴市が保有するバスのほか、舞鶴市内のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、京都府バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

	確保車両台数(台)	備考
	バス	
(A)最大必要車両台数	10	
(B)車両確保台数	合計10以上	
舞鶴市が保有する車両	3	舞鶴市が保有する車両総数3台 施設敷地緊急事態で使用する車両を除く、 残りの車両を使用
まいづるし 舞鶴市内のバス会社が保有する車両	6	舞鶴市内のバス会社等が保有する車両 総数79台、タクシー95台 タクシーを用いた避難が実施できた分必 要バス台数は減少
その他(関西電力等)が配備する車両	1以上	関西電力等が確保する車両を使用

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(自衛隊、警察、消防、海保庁)に支援を要請